

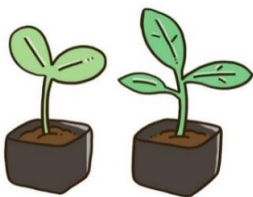
**プロ農家もアッと驚く  
美味しい野菜を！きれいな花を！  
園芸趣味家が作ってしまう・・・驚きの方法とポイント**

野菜を庭先やベランダで、鉢やプランターを使って作りましょう！



① 培養土は 1袋(30~40L程度)が1000円以上の良質な商品を用意します。  
(培養土は何回も再利用できます。)

② 栽培する鉢やプランターは、後々の管理が楽なように、出来るだけ大きなサイズの物を選びましょう。



③ ふた葉が元気な苗を購入

④ (仮称)特殊液肥2(号)の1000倍液に  
浸して10分位どぶ付けします。

⑤ 鉢やプランターに植え替えます。



添付のスプーンの場合は  
こやま一杯が約4gです。

⑦ 肥料を与えた直後に(仮称)特殊液肥1(号)の1000倍液と、  
液体肥料マイガーデンの500倍液を作物全体に十分に  
散布します。その後2週間毎に液を作り散布してください。

⑥ 1週間から10日後に緩効性肥料を  
苗より5~10cm位離して、  
1株あたり約4gを与えます。

⑧ この後の管理は、IHSガーデニングクラブに入会の方にお送りさせて頂く専用情報誌を参考にしてください。

各家庭で、毎日のようにゴミとして発生する廃ペットボトルを活用して、  
いつも手元に作っておきたい、すぐに活用できる手軽な特殊液肥の作り方

〈お届け商品内訳〉

特殊液肥1・特殊液肥2・マイガーデン・緩効性肥料  
スポイト・スプーン・じょうご・手袋・マスク・シール各1式、  
ペットボトル用ジョウロの口3個

※添付商品は種類が変わる場合がございます。



〈ご用意いただくもの〉

空のペットボトル2L・・・3本  
350～600ml・・・3本  
※同封のシールをあらかじめ  
貼っておいてください。

1000倍液



① 2Lの水を入れたペットボトルの中に、特殊液肥1を  
スポイトで2ml測って入れてください。

② キャップを閉めペットボトルをよく振ります。



③ 散布しやすいように350～600mlの空いた  
ペットボトルにじょうごを使って小分けします。

④ 小分けしたペットボトルの  
口にはペットボトル用の  
ジョウロを取り付けます。

2Lのペットボトルは  
フタを閉めて  
おいてください。



⑤ 上記と同じように特殊液肥2の1000倍液、  
液体肥料マイガーデンの500倍液も作ります。

⑥ 完成  
※希釈した液は当日中に使い切ってください。